



金屋小だより

ながるるごとき自彊もて

令和8年9月15日

NO. 5

TEL 62-2050

子どもたちの「SOS」を受け止めるために

金屋小学校長 平山 裕也

長かった夏休みが明け、校舎に子どもたちの元気な声が戻ってまいりました。2学期のスタートにあたり、お子様の様子はいかがでしょうか。

さて、全国的なデータとして、夏休み明けの9月は子どもたちの自殺件数が増加傾向にあることが報告されています。環境の変化やプレッシャー、言えない悩みを抱え込みやすいこの時期は、特に注意深い見守りが必要です。本校で1学期に行った学校生活アンケートにおいて、悩み事や困り事があったときに相談できる人が「いない」「わからない」と答えた児童が9名いました。この中には、特に悩み事や困り事がなく相談することがないため、「いない」「わからない」としている児童もいるかもしれません。先日の始業式では子どもたちへ「悩みや困ったこと相談できる人がいることはとても大切なこと。相談できる人を見つけてほしい。」と話し、一人で抱え込まないように伝えました。

子どもがSOSを発信したとき、私たち大人に求められるのは「適切な対話」です。その関わり方の指針として、自殺予防の現場では「TALK（トーク）の原則」という対話の手法があります。

- **T(Tell):声をかける** 「いつもと様子が違う」と感じたら、「どうしたの?」「心配しているよ」と、気にかけていることを言葉にして伝えます。
- **A(Ask):率直に尋ねる** 死にたいほどのつらさを抱えているのではないかと感じたときは、「消えてしまいたい気持ちになる?」など、危険の度合いを恐れずに率直に尋ねます。問うことで、子どもは「ここまで真剣に向き合ってくれている」と受け止めます。
- **L(Listen):傾聴する** 子どもが話し始めたら、説教やアドバイス、否定をせず、最後まで心を寄せて耳を傾けます。「つらかったね」と苦しい気持ちをそのまま受け止めることが、大きな安心感につながります。
- **K(Keep safe):安全を確保する** 抱え込まず、学校や専門機関など周囲の信頼できる大人と連携し、子どもの安全を守る体制を速やかに整えます。

子どもにとって「自分の話を真剣に聴いてくれる大人がいる」と実感できることは、生きる上での大きな支えとなります。家庭と学校がしっかりと手を取り合い、温かな対話の輪を広げていくことが、子どもたちの孤立を防ぐ最大の防止策です。自殺予防と聞くと重い感じがしますが、普段の会話でもTALKの原則を意識することで子どもたちの話しやすさも大きく変わります。

ご家庭でも、もしお子様の変化や気になる様子がございましたら、些細なことでも遠慮なく学校へご相談ください。すべての子どもたちが安心して笑顔で学校生活を送れるよう、教職員一同、全力で寄り添ってまいります。今学期もご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

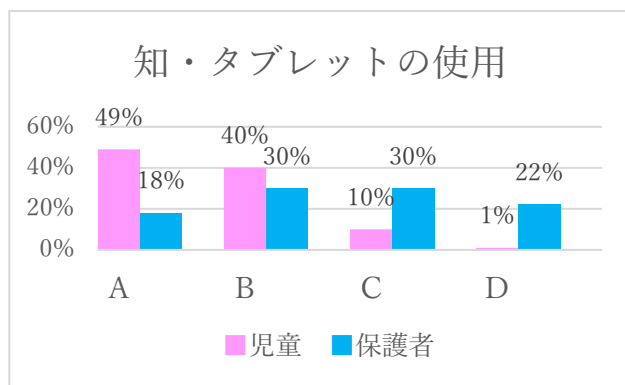
1 学期「学校評価」の児童・保護者アンケートの結果について

1 学期末に行いました「学校評価」の児童及び保護者アンケートの主な項目の結果についてお知らせします。（保護者アンケートは Web による回答としました。回答率は92.3%でした。ご協力ありがとうございました。）

A…あてはまる B…まあまああてはまる C…あまりあてはまらない D…あてはまらない

1 知育

（1）「タブレット」の活用について



【質問項目】

児 童：タブレットを使って「自分の思いや考えをした」「友達と伝え合うことができた」

保護者：お子さんは、iPad を有効に活用している。

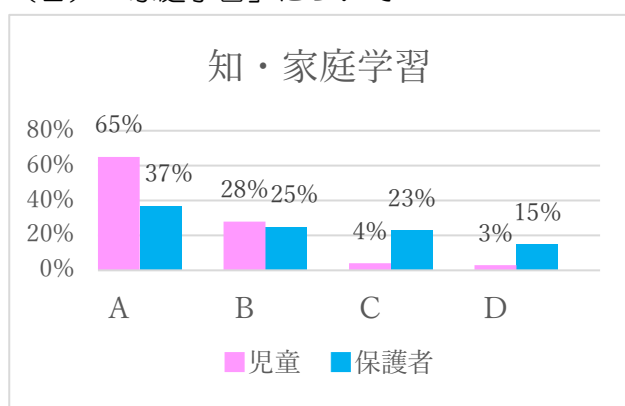
肯定的回答の割合は児童が 89%、保護者が 48%という割合になりました。

児童と保護者との肯定的割合の開きがあります。児童は、学校の授業で iPad を使い、教師の指導で活用しております。保護者の皆さんは「iPad を趣味や遊びで使わず、学習内容のみに使っている」という解釈でお答えいただいたのではないかと思います。

今一度、iPad の使い方について指導するとともに、今後も自らを表現できる児童を育てていきたいと思います。



（2）「家庭学習」について



【質問項目】

児 童：毎日、家庭学習（学年×10 分）をしている。

保護者：お子さんは、毎日学年×10 分の家庭学習をしている。

肯定的回答の割合は児童が 93%、保護者が 62%でした。

児童の多くは家庭学習に取り組んでいると回答していますが、保

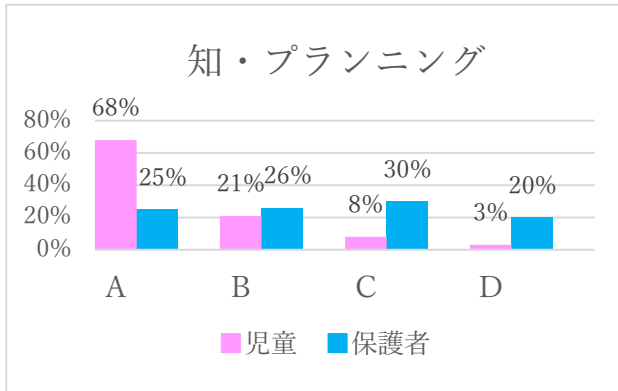
護者の回答とはやや差が見られました。学級担任は毎日、宿題や自主学習の提出状況を確認しています。ご家庭でのご協力ありがとうございます。

家庭学習は学習内容の定着を図るだけでなく、自ら計画を立てて学ぶ力や学習習慣を身に付けるためにも大切です。

今後も家庭と連携しながら、継続して家庭学習に取り組めるよう支援を続けていきます。



(3) 「プランニング」について



【質問項目】

児 童：自主学習（宿題以外の学習）や読書の計画を家庭学習カードに書いている。
保護者：お子さんは、家庭学習カードに学習の計画を書いている。

肯定的回答の割合は児童が 89%、保護者が 51%でした。

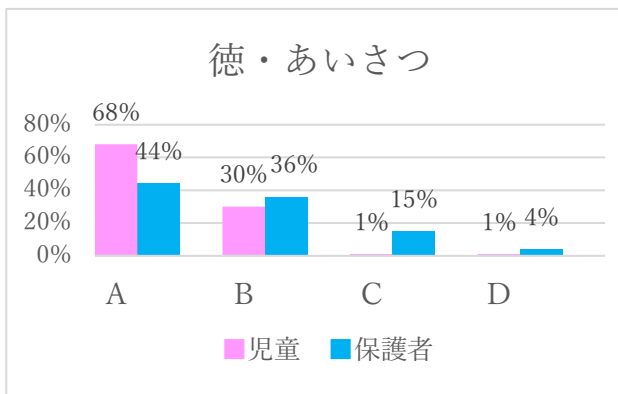
多くの児童が家庭学習カードに計画を書き、見通しをもって家庭学習に取り組んでいることが

分かりました。一方で保護者の方の意識との間には差も見られました。

今後も自ら計画を立てて主体的に学ぶ力を育てられるよう指導を続けていきます。ご家庭でも家庭学習カードを確認していただき、「今日は何を学習するの?」「計画どおりにできたね」などと声を掛けたり、学習しやすい時間や環境を整えたりなど、引き続きご協力をお願いします。

2 徳育

(1) 「あいさつ」について



【質問項目】

児 童：朝、自分から進んであいさつをしている。

保護者：お子さんは、家族や地域の方に自ら進んであいさつをしている。

肯定的回答の割合は児童が 98%、保護者が 80%で、肯定的回答が高かったです。

児童の朝のあいさつは良く、地域の方々から「金屋小の子

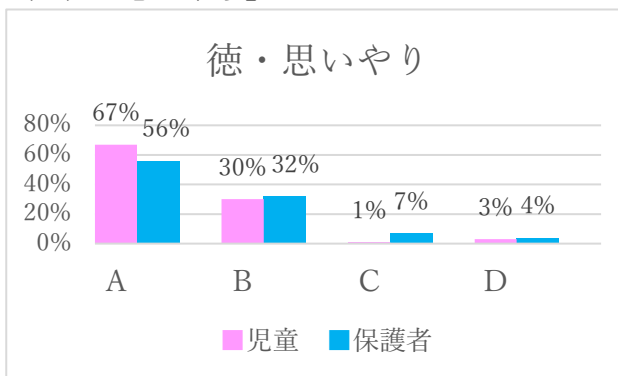
おはようございます!!



どもたちの朝のあいさつが良くなってきている。」「大きな声であいさつしてくれる子がいる。』と誉めてもらうことが多くあります。

毎朝、運営委員会の児童があいさつ運動を行っています。今後もあいさつがとびかう学校に向け取り組んでいきます。

(2) 「思いやり」について



【質問項目】

児 童：そうじや縦割り班活動の振り返りで、班の人のいいことを伝えることができる。

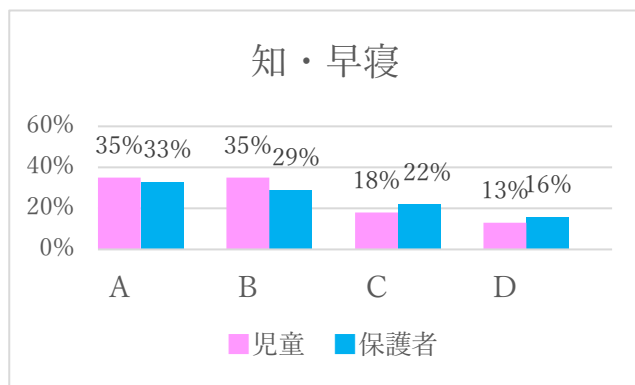
保護者：お子さんは、友だちと仲良くしたり、家族や周りの人に思いやりをもって接したりしている。

肯定的回答の割合は児童が 97%、保護者が 88%で、高評価でした。

児童は、毎週 2 回縦割り班での清掃の反省会は、良かった人の発表を行っています。また、生活目標で「友達の良いところを見つけよう」、「感謝の気持ちを伝えよう」の取組も行い、友達と仲良くしたり思いやりをもって行動したりできるよう働き掛けていきます。

3 体育

(1) 「早寝」について



【質問項目】

児 童：早寝をしている。（1・2 年生は 9 時まで、3・4 年生は 9 時 30 分まで、5・6 年生は 10 時までに寝る。）

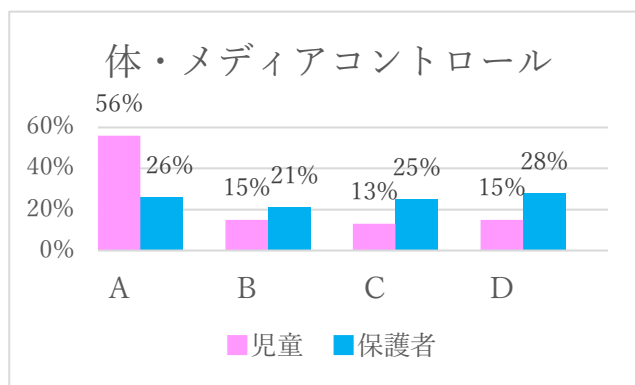
保護者：お子さんは、早寝ができています。

肯定的回答の割合は児童が 70%、保護者が 62%で、児童と保護者でおよそ同じ見解のようです。

学校としては、早寝をする児童の割合を

80%以上を目指しています。トリプルアップ取組の意見には、「夜のスポ少で帰ってくるのが遅くなり、なかなか守れない」という声もあります。お子さんの成長のためにも睡眠時間の確実な確保が意識できるよう保護者の皆様のご協力をお願いします。

(2) 「メディアコントロール」について



【質問項目】

児 童：学習以外のメディア使用時間 1 日 2 時間以内、ゲーム 30 分以内ができています。

保護者：お子さんは、学習以外でのメディア使用時間 1 日 2 時間以内、ゲーム 30 分以内ができています。

肯定的回答の割合は児童が 71%、保護者が 47%で、見解に差があります。

子どもたちは、比較的コントロールできているという認識ですが、保護者の皆さんは、守れていない、という認識のようです。

学校では、今後もトリプルアップ週間を通して、メディアコントロールができるよう呼び掛けていきます。今一度、ルールや守っているかを子どもたちに指導していきますので、ご家庭でもお声掛けいただきますようお願いいたします。



4 「気になること・要望等」について（一部掲載）

たくさんの様々なご意見、教育活動への感想、職員へのねぎらいの言葉をいただきました。ありがとうございました。

NO.	気になること・要望
1	・同じクラスの同じ子に押されて怪我をしたり、嫌な事をされていたりするのを参観日に親も見ている、子供からも聞くが何度も同じ事をしている子供や親にきちんと言ってくれているのか、言ってくれているならなぜ同じ事を何度もするのか疑問です。
2	・授業参観で授業の様子を見ましたが、授業中違うことをしている子やうろうろ動いている子など以前より落ち着いて授業を受けることができなくなっていると感じました。子供たちが授業に集中できるよう適宜声がけをしてもらいたいと感じました。
3	・子供の怪我についても頭や顔を強く打っている時の報告はきちんと当日に連絡をしてもらいたいです。何も無ければ良いですが、自宅で具合が悪くなった時の対応が遅れる事につながる可能性も無いとはいえないので。
4	・合併の件で、子供達の意見を聞くと早く合併したいという声も聞こえてきます。保内小といずれ合併するのであれば相手側にも悪い印象を持たれて合併は子供達の為にならないと思います。熱心に反対してくださる方がいる手前、なかなか合併に賛成ですと声をあげられる金屋の保護者はいないと思います。子供達の事を考えれば反対が長引くほど関係性が悪くなる一方だと不安に感じています。どうしたらいいのかわかりませんが、声を上げられない保護者がいること匿名のアンケートだったのでこちらでお伝えさせていただきました。
5	・月末に学校行事はやめてほしい。自分だけの意見で改善されるとは思っていませんが、月末に休めない人がいることを知っていてほしいです。
6	・学校評価には関係ないのですが、毎年お願いしている、夏期間のバス通学について何か進展または教育委員会からの回答などありますでしょうか。 特に5時間の日は1番暑い時間の下校となります。これまでの暑さとは違うので、子どもの命を守るためにも夏期間のバスをお願いしたいです。
7	・学習以外のメディアコントロールについては、家庭にいる時間が主であるため、家庭の責任の部分が大きく、家でも認識を新たにしていかなければならないと思いました。
8	・スポ少がある時はどうしても早寝は出来ないうし、次の日に疲れを持ち越す事もあります。

【回答】

NO.	回 答
1	○学校が把握した児童のトラブルについては指導を行い、事実と指導内容を家庭連絡しています。今後も家庭と連絡を取り合い、再発防止に向けて根気よく丁寧に指導してまいります。
2	○学校では子どもたちが主体的に学び合える授業づくりに取り組んでいます。その過程で、意見交換や作業のために自発的に動く場面はあります。ただ、学習課題からそれてしまったり、集中が切れてしまったりする行動が見られるのも事実です。学習のルールやマナーを再確認し、個々の状況に合わせて集中を促す丁寧な個別指導・声かけを行います。ご理解、ご協力をお願いいたします。
3	○けがの連絡は、状況を判断し適切に行うようにいたします。
5	○行事等の時期の見直しを検討する予定です。
6	○要望については教育委員会へ伝えてまいります。
7	○メディアコントロールやトリプルアップ週間へのご協力ありがとうございます。子どもたちの家庭での過ごし方が、学校生活に影響を与えることも多いです。習い事、スポ少等で難しいこともあると思いますが、可能な範囲でよりよい生活習慣を身につけさせていきたいです。

☆☆☆令和8年度 10月の行事予定☆☆☆

令和8年9月15日現在

日	月	火	水	木	金	土
				10/1 全校朝会 1、2年校外学 習樽ヶ橋遊園 郡市陸上記録会 予備日	2 4年校外学習 県庁	3
4	5 全校読み聞かせ	6 フッ化物洗口 荒川中中学生職 場体験（～8日） 新清掃場所スタ ート	7 朝学習G T 6年キャリア 授業5,6限	8 スクールカウ ンセラー来校 校内居場所カフ ェ（1,3,5年）	9 青空マラソン 大会 就学時健康診断の ため全校授業4限 ・給食後下校	10
11	12 🎯 スポーツの日	13 知・徳・体トリプルアッ プ週間（～20日） フッ化物洗口	14 朝学習G T クラブ活動 青空マラソン大会予備日	15	16 避難訓練（引 き渡し訓練） 全校5限下校	17
18	19 低学年読み聞かせ	20 フッ化物洗口	21 朝学習G T 委員会活動	22	23 文化祭前日準備 （4～6年） 1～3年授業4限	24 文化祭
25	26 文化祭の振替 休業日	27 フッ化物洗口	28 朝学習G T 全校5限下校	29	30 (荒川中青雲祭)	31 

【11月の主な予定】

- 11月2日(月) 全校朝会
荒川地区文化祭（～3日）
- 3日(火) 🎯 文化の日
クラブ活動（3年生見学）
- 9日(月) 低学年読み聞かせ
- 10日(火) 居住地交流（5年）
- 11日(水) 委員会活動
- 12日(木) 校内居場所カフェ（2,4,6年）
- 16日(月) 低学年読み聞かせ
- 18日(水) クラブ活動
- 23日(月) 🎯 勤労感謝の日
- 27日(金) ウィンターフェスティバル

